

K A K E G A W A

かけがわ 第7号

市議会
だより

平成18年8月1日

編集/発行 掛川市議会

静岡県掛川市長谷1丁目1番地の1

☎ 0537 (21) 1160

<http://www.city.kakegawa.shizuoka.jp/>

おもな内容 CONTENTS

- 6月定例会の概要 2 ページ
- 議案質疑 3 ページ
- 一般質問 4 ページ
- 傍聴席/9月定例会の予定 8 ページ
- 7月臨時会の概要 8 ページ

ならこの里
いよいよ夏本番!

子どもたち!
歓声をあげ、水遊び満喫!
さあ、行こう!

6月定例会

平成17年度

病院・水道事業会計決算認定

平成18年第3回(6月)定例会は、6月12日に開会、平成17年度企業会計決算(病院・水道)、平成18年度補正予算関係1件、条例関係4件、人事案件4件、その他5件、意見書3件の合計19件が上程され、一部議案は、修正可決となりましたが、そのほかの議案については、原案のとおり、認定、可決、同意、受理されました。また、請願1件が採択されました。

事業収益	2,895,329千円
事業費用	2,663,913千円
純利益	231,416千円

事業収益	8,714,289千円
事業費用	8,777,572千円
純損失	63,283千円

6月27日に開催された企業会計決算特別委員会において、病院・水道事業会計とも慎重に審査が行われ、7月4日の本会議において賛成多数にて認定されました。

水道決算委員長報告(抜粋)

- 問** 水道事業会計において、今後の水需用予測と工業用水受水の影響は。
- 答** 市民の節水意識と節水機器の普及が進み、水需用は増えていない。工業用水受水もあり、企業の通常ベースでの使用は何ら支障はない。進出企業に対しても、水使用の制約は考えなくて良いと判断している。
- 問** 水道料金統一における当局の考えは。
- 答** 大変重要な問題である。下水道ともかわりがあり「懇話会」を設立し、19年秋答申を受け、同年12月議会上に上程。さらに、周知期間をおき、合併協の方針の通り平成20年4月より統一したい。なお、「懇話会」への原案・途中経過を議会上に報告する。
- 問** 基金の有効活用に疑問があるが。
- 答** 市中銀行の大口定期が主体で、公社等に2億5千4百万円運用している。独立採算が基本であり、会計上少しでもプラスなら今後も運用を続けたい。
- 問** なまりかん鉛管の改良状況は。
- 答** 調査した結果、分管・連合管等で関係戸数6千7百戸(箇所)である。現在4千4百箇所弱が未改修である。10年計画で完了したい。多額な費用が必要だが効率的に進めていく。

病院決算委員長報告(抜粋)

- 問** 各自治体がそれぞれ総合病院を経営することが、赤字の大きな要因ではないか。
- 答** 一つの自治体が一つの総合病院を経営するという時代ではなくなってきていると思う。例えば、掛川市立総合病院で全て治療、対応できるような体制を取ろうとすると、今以上に重装備な形になり、とてもその採算が合わないということになる。さらに高度な中核的病院があれば、それをうまく利用することも検討する時代だと思う。
- 問** 減価償却費に関連し、償却年数はどれくらいか。
- 答** 代表的な医療機器である放射線機器で、法定耐用年数は6年である。しかし、当院では概ね10年から12年位で更新をしている。
- 問** 現在の病院規模において、医師、看護師は何人くらい必要なのか。
- 答** 常勤医は70名程度が理想。看護師については、看護基準にするためには現在3人不足している。さらに育休、産休、年休、病欠、研修等も考慮すると、年度内だけでも5～6名の補充が必要と思われる。

議案質疑

必要から個室使用となったのは、延べ六百九十六人であった。

● 議案第九十号 平成十八年度掛川市一般会計補正予算（第一号）

○ 助役退職金について、六月一日付け退職とした理由はなぜか。

○ 五月三十、三十一日と一豊訪問団の公務が入っていたため、六月一日での辞令となった。

● 議案第九十一号 掛川市自然環境保全に関する条例の制定

○ 指定希少野生動物のリストは、どのようなものになるのか。

○ レッドデータブックに掲載されている絶滅危惧種等の特に保護が必要な野生動物植物類を考えている。今後、自然環境保全審議会において、専門家の意見を聞きながら指定を進めていきたい。

● 議案第九十四号 掛川市立総合病院使用料及び手数料条例の一部改正

○ 病室使用料について、特別室の利用状況はどうか。

○ 年間延べ七百三十人の利用が可能であるが、十七年度は延べ七百二十一人、そのうち診療上の

● 議案第九十五号 平成十八年度掛川市営住宅原谷第二団地第二期棟建築工事請負契約の締結

○ 須山建設の落札、契約となっているが、この業者選定のメリックトはあるか。

○ 準市内業者であり、市税として

の収入、また、住宅建築に伴う下請け企業や資材調達など、市への経済波及効果は大きいものと思われる。

● 議案第九十七号 二十二世紀の丘公園アプローチ園路等建設工事委託契約の締結



建設中の22世紀の丘公園

○ 都市再生機構と随意契約したが、工事は市内の業者が行うのか。

○ 都市再生機構の工事発注の方法は、一般競争入札（詳細条件審査型）。その詳細条件の一つに、なるべく地元業者が参加できるように、地理的条件も含まれている。

○ 議案第九十八号 掛川市道路線の廃止について

○ 廃止後の道路の管理はどうなるのか。

○ 大淵九十六号線については、道路敷が個人所有地であり、関係者との見直し協議の結果、廃止するもので、その後は土地所有者の管理となる。満水天川線は、既存路線を廃止し、新たに市道認定をするため、引き続き市が管理を行う。

● 認第一号 平成十七年度掛川市病院事業会計決算の認定

○ 委託料について、医事業務の支出の基準はあるか。

○ 支出基準そのものの特段の定めはないが、個々の業務ごとに経済性、専門性を考慮しつつ、検討、判断をしている。

6月定例会の経過

6月

- 12日 本会議 平成十七年度企業会計決算、平成十八年度一般会計補正予算等各議案の市長提案説明及び監査委員の審査説明
- 21日 本会議 一般質問
- 22日 本会議 一般質問
- 23日 本会議 議案質疑、一部議案採決。議案・請願・陳情常任委員会付託。企業会計決算特別委員会設置、付託。常任委員会付託議案・請願・陳情審査
- 27日 企業会計決算特別委員会 付託議案審査

7月

- 4日 本会議 決算特別委員会・常任委員会委員長報告、討論、採決。人事議案提案説明・採決。請願委員長報告、採決。陳情審査結果報告。意見書採決。議員派遣採決。



一般質問

Q & A

● 質問部分は、質問者本人が作成しました。

ごみ処理の現状と将来計画について

八木宏之（親和会）

Q 合併した掛川市には二つの焼却施設があるが、経済的には周辺自治区の理解を得て、環境資源ギヤラリーで行うことが合併最大のメリットと思うがいかがか。

【他の質問事項：財政問題、大東図書館・資料館】

A 一つの市で、二つの処理場を持っているのはいかがなものかと思う。

環境資源ギヤラリーで余力でのごみ処理が実現した場合、かなりの経費が軽減できると見込んでいる。関係地区と菊川市の理解を得て、統合できるように取り組んでいきたい。直近の組合議会において、このことの投げ掛けをして、検討いただくようお願いしたいと考えている。

掛川高瀬線について

狩野 恒（親和会）

Q 掛川高瀬線の施設と南北幹線道の計画のなか、農地消失に対し代替用地提供の考えはあるか。道路施設開発による下流域の治水対策は万全か。また供用後、沿道域の除草、ゴミのポイ捨て不法投棄の対策はどのようなものか。

【他の質問事項：ポジティブリスト制度、若年者雇用】

A 既設農地の借り入れ、購入、茶樹園の農地造成や再編整備等については、市及び地元農協に相談いただきたい。治水対策については、工事中、また完成後も下流域の影響を検証し、細心の注意を払いたい。不法投棄の防止策としては、草刈り等の維持管理を徹底し、まずは捨てにくい環境づくりを図っていく。

東部循環バスについて

鷺山喜久（日本共産党）

Q 予定されている十九年春からの東部循環バスは、市民の要望を聞いて、病院、スーパーマーケット、駅に百円バスとして、左回り、右回り、フリー乗降など、高齢者支援を目的とした運行を求めるがいかがか。

【他の質問事項：障害者（児）福祉、就学援助、教育基本法改正】

A 東部循環バスというのは、待つたなしで必要なものと思っっている。ルートやバス停の場所などについては、技術的な問題であり、これから検討していきたい。しかし、これ以上、百円バスを増やしていくこ

とは、なかなか難しい問題だと考える。



橋梁の整備について

内山周則（かけがわ21）

Q 橋梁台帳が未整備のままであり、また、築造年月が不明のもの約七割にも及ぶ。早急に総点検を実施し、耐震補強を含む予算化が必要と思うが、市長の見解を伺う。

【他の質問事項：肥満児童と母子健康手帳の改善、桜てんく栗病】

A 部分的には点検を行っているが、全てということには至っていない。特に昭和五十五年以降は、名称、幅員、構造等について調査されてなく、順次調査を進めていきたい。総点検の重要性は十分に感じている。予算化の必要性について、市内



大淵地内の木橋

で検討し、委員会にも諮っていききたい。橋梁は道路事業の一環であり、早期改築には、道路財源が必要となることをご理解いただきたい。

教育委員会の権能について

高塚昌彦（親和会）

Q 中央、地方で教育委員会の存在そのものの形骸化が危惧されているが、掛川市の教育委員会として今後どうあるべきと考えるか伺う。

【他の質問事項：市の三役人事、スポーツ・文化活動の振興、青少年の非行防止】

A 五人の教育委員の合議制という特色があり、その趣旨を生かした運営に努力している。事務局の所管事項に関しても、施策から事業の推進まで、委員会協議に付され、報告を受けており、あわせて諸課題について、委員の積極的な意見をもと

に施策の展開をしている。今後も、中立公正な立場を堅持し、効果的な施策の展開を図るべく、連携協働を重視していきたいと考えている。



可決された意見書（要旨）

少子化対策の抜本的な充実と積極的推進を求める意見書

我が国の合計特殊出生率は、国の予測を超え、1.25まできている。

急速な少子化の進展が、21世紀の国民生活に経済的、社会的、福祉制度的に深刻かつ多大な影響をもたらす、国力を大きく低下させることは明白である。

本市議会は、国会及び政府に対し、少子化対策の抜本的な充実と積極的推進を下記のとおり要望する。

記

- 1 乳幼児手当の創設、育児休業中の所得保障の充実、子育て支援減税の実施、子育てを積極的に支援する企業の法人税を優遇する制度の創設を要望する
- 2 仕事と子育ての両立を可能にする働き方、賃金体系を法律的に保障すること、保育所の整備充実と施設利用者に対する補助金制度の創設を要望する
- 3 若者が結婚し、ともに助け合い、家庭を築き、子どもを産み育てることが、社会的に高く認められる社会、自ら「幸せ」と感じられるような価値観を持った社会の創設が必要である。政治としてそのような国づくりを求める

（提出先：内閣総理大臣、総務大臣、厚生労働大臣、内閣府特命担当大臣、衆議院議長、参議院議長）

日本ブラジル間及び諸外国との犯罪人引き渡し条約締結に関する意見書

県西部において、善良な市民が巻き込まれた3件の事件が発生した。犯人は、いずれも日系ブラジル人であり、逮捕前に母国ブラジルに逃げ帰っており、母国での捜査状況については、いずれも不明である。

残念ながら、日本ブラジル間には、犯罪人引き渡し条約の締結が行われていない。

よって、政府において、一刻でも早く、下記の内容のごとく対応をとるよう強く要望する。

記

- 1 日本国とブラジル国の二国間における犯罪人引き渡し条約の締結を早期に行うこと
- 2 次善の策として、国際刑事警察機構等の国際的な組織を活用し、犯人逮捕に向け、積極的な行動にでること
- 3 他の諸外国においても、ブラジル国と同等の条約を締結するよう働きかけること

（提出先：内閣総理大臣、総務大臣、外務大臣、厚生労働大臣、内閣官房長官）

道路整備予算の確保に関する意見書

国におかれては、道路整備を緊急かつ計画的に推進するため、安定した道路整備財源の確保を図っていただくと共に、次の事項の促進に関して特段の配慮がなされるよう強く要望する。

記

- 1 新市まちづくりを推進するための市町村道整備
- 2 交通安全対策、沿道環境改善対策等、安全で快適な生活環境づくりを推進するためのそれらに資する施設の整備
- 3 重要路線の交通の円滑化を図るための国道一号バイパス・国道150号の4車線化

（提出先：内閣総理大臣、財務大臣、国土交通大臣、内閣官房長官、衆議院国土交通委員長、参議院国土交通委員長、衆議院議長、参議院議長）

手話通訳の派遣事業は無料で

水谷陽一（日本共産党）

Q 音声や言語を聞き取れない聴覚障害者は、社会生活のあらゆる場面で生きにくい。生きるためのコミュニケーション保障に関わる手話・要約筆記・盲ろう者向け通訳介助の利用者負担は、無料実施の施策を掛川市として講じるべきではないか。

応を検討していきたいと考えている。

【他の質問事項・掛川市立病院、さんりーなパスポート券、大東・大須賀支所】

A どうして、国がこの自立支援法という法律を制定したのかを考える必要がある。現在の財政状況や社会状況について、それなりに理解していかなくてはならない。手話に関しては、県も既に無料化の方針を示しており、市としても同じ様な対



一般質問を手話通訳

掛川大祭「三大余興」への支援について

松井俊二（親和会）

Q 今日、三大余興を実施する各自治区は、人口の減少、経済的な負担等、大変な苦労を余儀なくされている。歴史と伝統ある掛川大祭の三大余興を後世に伝えていくため、行政として今後どのような支援策をお考えか。

【他の質問事項・中心市街地活性化、自治区の状況、アパルト施策】

A 三熊野神社のお祭りには、おはやしの保存会があるが、三大余興についても、こういった保存会を作り、この保存会に対して、市が協力、バックアップしていくという方法が考えられる。地域の宝として、今後、大いに顕彰、応援し、次代に引き継いでいく必要があると思う。



大名行列（西町）

※三大余興：かんからまち（瓦町）、大名行列（西町）、大獅子（仁藤町）

農業活性化やる気塾とBDFについて

桑原百合子（みどりの会）

Q 国は次世代エネルギーとしてBDFの導入を考えている。掛川市では、「農業活性化やる気塾」を今年度立ち上げ、掛川市農業振興ビジョンの策定を予定しているが、そこに菜の花エコプログラムを入れる

考えはないか。

【他の質問事項・竹の丸、市民の健康増進、掛川大祭、教育長人事】

A 採取油によるBDF燃料の生産原価を試算すると、現状の軽油価格の約八倍となるとという報告もあ

り、現状では、普及性が低いものと考えている。やる気塾での支援については、関係者の意見を十分聞きながら検討していくことが必要と思われる。

※廃植物油等を利用した燃料油で、市販のディーゼル車に使用可能。

一般質問について詳しくお知りになりたい方は、市役所ホームページの市議会会議録をご覧ください。

6月定例会の会議録は、9月中旬に掲載を予定しています。

議案の審議結果

〔予算〕

- 平成18年度掛川市一般会計補正予算（第1号）
.....（賛成多数可決）

〔決算〕

- 平成17年度掛川市病院事業会計決算
.....（賛成多数認定）
- 平成17年度掛川市水道事業会計決算
.....（賛成多数認定）

〔条例〕

- 掛川市自然環境の保全に関する条例の制定
.....（全会一致可決）
- 市長の給料の特例に関する条例の一部改正
.....（全会一致修正可決）
- 掛川市交通安全対策会議条例の一部改正
.....（全会一致可決）
- 掛川市市立総合病院使用料及び手数料条例の一部改正
.....（賛成多数可決）

〔一般〕

- 掛川市営住宅原谷第2団地第2期棟建築工事請負契約の締結
.....（全会一致可決）
- 東部配水池増設工事請負契約の締結
.....（全会一致可決）
- 22世紀の丘公園アプローチ園路等建設工事委託契約の締結
.....（賛成多数可決）
- 掛川市道路線の廃止
.....（全会一致可決）
- 掛川市道路線の認定
.....（全会一致可決）

〔人事〕

- 人権擁護委員の推薦につき意見を求めること（全4件）
.....（全会一致同意）

〔報告〕

- 平成17年度掛川市一般会計繰越明許費の報告
.....（全会一致受理）
- 平成17年度掛川市公共下水道事業特別会計繰越明許費の報告
.....（全会一致受理）
- 平成17年度掛川市一般会計事故繰越しの報告
.....（全会一致受理）

〔請願〕

- 障害者自立支援法施行に伴う療育施設等の利用者負担の軽減（補助）に関する請願書
.....（採択）

〔意見書〕

- 「少子化対策の抜本的な充実と積極的推進を求める意見書」の提出
.....（全会一致可決）
- 「日本ブラジル間及び諸外国との犯罪人引き渡し条約締結に関する意見書」の提出
.....（全会一致可決）
- 「道路整備予算の確保に関する意見書」の提出
.....（全会一致可決）

〔陳情〕

- 「さんりーな」利用「パスポート券」制度存続を願う陳情書
.....（不採択）
- 障害者自立支援法施行に伴う掛川市独自の支援策を求める陳情書
.....（採択）
- 国の責任を患者・地方自治体に転嫁する「医療制度改革」反対の意見書の採択を求める陳情書
.....（不採択）

耐震補強の助成拡充について

戸塚久美子（みどりの会）

耐震補強が必要な住宅において、今年から市の単独事業創設及び国交省の所得税額控除等により、大きく助成制度が拡充されている。市民への啓発はどのようにされるのか。

【他の質問事項：障害者自立支援法、介護保険制度改正、ITネットワーク】

A 六月の区長会連合会理事会上において耐震改修推進のお願いをしている。今後さらに、密集市街地を重点的に説明会を進めていく。また、広報かけがわへの掲載やチラシの折り込み、各種会合やイベントの場での啓発宣伝等、年間を通して市



耐震補強をして安全な家にしましょう

民へのPRを計画している。制度を多くの方に利用していただき、防災に強いまちとなるように努めていきたい。

中心市街地活性化対策について

竹嶋善彦（親和会）

空き店舗が目立つ商店街。事業計画の見直しとなった駅前東街区再開発事業について、その後、どのような検討がなされ、どの方向性により整備を進めていこうとしているのか。また、今後のスケジュールについて伺う。

【他の質問事項：市長の選挙公約、東環状線、エレベーター事故】

A 国において、中心市街地を支援する新しい制度が作成されている。来年の秋には示されると聞いている。その内容を想定して、現在、再開発ビルの構想などの研究を行っている。平成二十年度での事業の具



閑散とした商店街

体化を目指し、研究チームを発足させ、活性化に取り組んでいきたい。

● 傍 聴 席 ●

私たち聴覚障害者・盲ろう者・中途失聴・難聴者は、今回の議会に向けて、「障害者自立支援法施行に伴う掛川市独自の支援策を求める陳情書」を提出しました。このことについて議員が、一般質問の中で取り上げてくださるので、初めて傍聴することになりました。

しかし、私達は耳が聞こえませんが手話通訳を依頼しました。

一般質問で手話通訳が本会議場に入ったことは、初めてのようです。議長席のとなりで手話通訳を見ることができました。傍聴席は議場と同じフロアで、すぐ近くが議員の方々の席で緊張しました。

今回の自立支援法における地域生活支援事業では、手話通訳等コミュニケーション支援について、聴覚障害者に一方的に1割負担を負わせることのないよう従来通り無料化にして欲しいという私たちの陳情書について、議員の方が一生懸命話をしてくださいました。市長の答弁は、県・近隣市の状況を見て検討して下さるとのことでした。

『百聞は一見にしかず』という意味から、人から報告を聞くより、現場で直接に聞く方が納得できます。

市民の皆さんにも是非、議会の傍聴をお勧めします。

大池 市原 勉

- 4日 本会議(議案の提案説明)
- 12日 本会議(一般質問)
- 13日 本会議(一般質問)
- 14日 本会議(質疑、一部採決、委員会付託)
- 21日 一般・特別会計決算特別委員会
- 22日 一般・特別会計決算特別委員会
- 29日 本会議(委員長報告、質疑、討論、採決)

9月定例会の予定

7月臨時議会開かれる!!

去る7月11日、第4回(7月)臨時会を開催。「教育委員会委員の任命について」の議案が上程され、全会一致で同意しました。

任命された教育委員会委員は、杉浦靖彦氏(掛川市大淵、64歳)であり、佐藤教育長の後任として教育長に就任されました。

議会日誌

- 【五月】
 - 22日 ●子育て支援・少子化対策特別委員会
 - 23日 ●市議会全員協議会
 - 24日 ●全国市議会議長会定期総会
 - 25日 ●経済建設委員会現地視察
 - 26日 ●文教厚生委員会現地視察
 - 26日 ●総務委員会現地視察
- 【六月】
 - 2日 ●県地方議会議長連絡協議会定期総会及び政策研修会(静岡市)
 - 5日 ●議会運営委員会
 - 5日 ●議員懇談会
- 【七月】
 - 5日 ●広域行政問題特別委員会
 - 10日 ●経済建設委員会協議会
 - 10日 ●文教厚生委員会協議会
 - 11日 ●掛川市議会第四回(七月)臨時会
 - 11日 ●議会だより編集委員会
 - 12日(7月4日) ●掛川市議会第三回(六月)定例会
 - 22日 ●議会だより編集委員会
 - 26日 ●南北道・幹線道路特別委員会
 - 30日 ●南北道・幹線道路特別委員会現地視察
 - 議会だより編集委員会

議会だより編集委員

(後列左から)
 竹嶋善彦 委員
 豊田勝義 委員
 戸塚久美子 委員
 大庭博雄 委員

(前列左から)
 水谷陽一 委員
 内山周則 委員長
 高塚昌彦 副委員長



編集後記

校了・完！正直な感想は「ふう〜、やっと」です。読みやすい・親しみのある「議会だより」の編集、難しいものです。今回は、各人の一般質問で掲載した事項のほか、他の質問項目も載せました。次回からは、十二頁立てで更に！乞うご期待。

編集委員長 内山